

町政モニター感想文 ⑤

熊野町の未来^{あす}

藤川 克弘

平成の市町村大合併という声が聞こえて、我が筆の里熊野はどうなるのか。30年近く前、広島市が政令指定都市に向かつて合併を持ち掛けて来た時は、熊野町は合併ノーという答えを出し今日に至っている。

今回はどんな答えが出るのか。先祖代々からの熊子である私は、熊野に心から愛着がある故か、異常なほどに熊野町の今後に関心を持って居ます。それで知り合いの町会議員さんや区長さん等に合併に対する情報や意見を求めても、ただ断片的なことしか返ってこない。また町長さんや幹部職員に直接聴ける程私に力量はない。しかも役場に足を運ぶのは、何年かに数度住民票や印鑑証明を頂きに行く時ぐ

らいで馴染みの人も居ない。

熊野町では、平成12年度に続き、13年度も町政モニター募集をされる。もしこのモニターに運よく委嘱されたなら、新しい情報がいち早く聞けるだろうと、そんな不遜な気持ちからのモニター応募でありました。

町の職員さんの説明では、我が熊野町は現在のところ他の市町村とは異なり、財政力は優れ、一般財源に対する地方交付税の割合も少ないなど、財政運営の面では、当分の間合併を考慮する必要もなく、メリットもあまり考えられないとのこと。今はただ合併は視野に入れず「三世代が住みよい緑の生活創造都市」・「教育と福祉のまち熊野」を標榜することとのこと、本当に喜ばしいことであります。

しかし、一方では町民の意志を尊重する必要があるため、市町村合併に対する意見

や賛否を住民に問う、パンフレット「熊野町の明日を考える」を作成され、有権者2、500人を対象にアンケート調査をされるそうです。

その内容は、合併パターンの観点も広く、政令指定都市の広島市だけを対象とするのではなく、5つのケースが考慮され、多方面に渡りその一つひとつについて優劣が検討されていきました。ただ私個人にとつて残念なことは、今までの無関心（地方財政状況・児童福祉等）や常識不足などから、難解な個所や対比事項が理解出来ない箇所が多々有ったことです。本当に自分自身の視点の低さ、視野の狭さを痛感させられた次第です。

また、この度のモニターに参加させて頂いたことで、これら合併に関する問題以外に、都市計画・社会福祉・教育・交通・ゴミ処理・コミュニティ・ボランティア・自然保護・筆の里の運営問題等々と多岐な事柄について実に幅広く、町職員の方々及びモニター諸君から説明や貴重なご意見を

深く拝聴させて頂き感謝致しております。

ご多忙な職員の皆さんは資料作りなど大変だったでしょうが、私にとつてはあつという間の9ヶ月間で、こんな良い機会は2度となく、まだまだ「青少年健全育成の問題」・「公園等の遊び場問題」等々お聴きしたい事柄が沢山有りましたが、何分時間不足は否めず心残りでありました。

なお、最後に介護保険の問題で、あるモニターさんの『知らない方が悪いのか？知らせない方が悪いのか？』この言葉は、福祉問題だけに、行政に係ったことのある私にとつて胸にドンと来た一言でした。



▲平成13年度町政モニターの様子

(企画課)

災害時の放送受信

災害時には、テレビ、ラジオなどからの的確な情報が不可欠です。

日頃からテレビやラジオの点検を行って災害に備えましょう。また、携帯ラジオなどの電池確認や定期的な予備電池の補充も行いましょう。

万一、水害などでテレビやラジオなどの電気製品が水につかった場合、電気製品は、泥やゴミがつまったらそのまま放置したり、すぐに電気を入れたりしますと、大きな故障をおこす場合があります。電気を入れる前に電器店などで点検してもらってから使いましょ。

問合せ先

広島県放送受信設備災害対策連絡会（事務局）

NHK広島放送局

TEL 0570-00-3434

(生活環境課)